

V. 参考資料

- ・ マナビィといっしょにおつかいすごろく
- ・ 平成 23 年度文部科学省消費者教育推進委員会委員名簿

教材「マナビィといっしょにおつかいすごろく」について

1. 作成趣旨

親子を対象にした消費者教育を推進するため、親子が継続的に使用し、消費者教育の浸透を図ることができる教材例を作成する。また、教材例を示すことにより、地域における独自の教材開発のきっかけづくりを行う。

2. 教材のねらい

- (1) すごろくに買い物の要素を盛り込み、物を選択し、お金と交換するという消費活動の基本的な形を習得する。
- (2) 必要なものとほしいものを考え、予算の範囲内で選択し、購入することで、適切な消費活動を学ぶ。
- (3) すごろくに消費生活に関するクイズのマス目を設け、消費活動に必要な知識を学ぶ。
- (4) すごろくを通して消費者教育の興味関心を高め、家庭での実践に活かす。

4. 入手方法

文部科学省ウェブサイト「消費者教育の推進について」からダウンロード
http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/syouthisha/index.htm

5. 内容

(教材に関するもの)

- ・ すごろく盤
- ・ おつかいかんりシート
- ・ おつかいきろくシート
- ・ クイズカード (例)

(教材の遊び方、教え方、詳しいねらいに関するもの)

- ・ せつめいしよ
- ・ 保護者の方へ
- ・ ワークショッププラン例 (ワークショップ実践事例)

チャンス
好きなものを買う
ことができるよ

キャンディ 50円
チョコレート 100円
たまご 150円

ケーキ 300円
ガム 100円

スーパー

ポテトチップス 100円
ビスケット 200円

チャンス
好きなものを買う
ことができるよ

おつかいできたか
「おつかいきろく
シート」でチェック!
おつかいがおわったら、出口にすすもう

出口
みんな
ストップ!

クイズ
カードを
ひこう!

ゴール!
おうち

スタート

おうちのひとからあしたの
えんそくでたべる、おべん
どうのおかずとおかしのお
つかいをたのまれたよ。
1,000円もらってしゅっぱ
つだ。

けいたいでんわの
マナーをひとつ
いってみよう。

あんぜんにきを
つけて、してんしゃで
ぜんしん!
3マスすすむ。

マナビィとおつかい



とりにく
300円



マナビィがはちみつがほしいとおねだりしてきたよ。どうする？

[かう]→ 200円しはらう。そのりゆうは？
[かわない]→ ことわる。そのりゆうは？

チャンス

すきなものをかうことができるよ

きゅう
にく
500円



ソーセージ
200円



マーケット



かう、かわないをえらぶことができるよ

ブロッコリー
200円



チャンス

すきなものをかうことができるよ

ミニトマト
150円



きゅうり
150円



レタス
200円



サケ
200円



**いっしょに
すごろく**

クイズ
カードを
ひこう!



入口

みんな
ストップ!

[せいかい]→ マナビィとともだちになった。いっしょにスーパーにはいる。
[まちがい]→ つぎのじゅんばんでもういちどちょうせん。



しょくじのとき、えいようをきちんととるためにきをつけることをひとついってみよう。



エコバックをわすれて、おうちにとりにかえる。**スタート**にもどる。



おかいものするとき、ちゅういすることをひとついってみよう。



こまりことがあったとき、そうだんできる人をいってみよう。



ヨーヨーであそぶとき、きをつけることをひとついってみよう。

おつかいかんりシート

スーパーマーケットでかいたいもの、かったものにしるしをつけてみよう。
ただし、スーパーマーケットでのかいものは、しるしをつけたものでなくてもかうことができるよ。

おかず

けいかく： 円

たまご 150円 	ソーセージ 200円 	さけ 200円 	とりにく 300円 	ぎゅうにく 500円 
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

やさい

けいかく： 円

ミニトマト 150円 	きゅうり 150円 	レタス 200円 	ブロッコリー 200円 
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>



おかし

けいかく： 円

キャンディー 50円 	チョコレート 100円 	ガム 100円 	ポテトチップス 100円 	ビスケット 200円 	ケーキ 300円 
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

<つかいかた>

- ① かいたいものに ○
- ② かったものに 



たまご 150円 	ソーセージ 200円 
<input type="radio"/>	

おつかいきろくシート

おつかいかんりシートと「おつかいメモ」でかくにんしながら、スーパーでかいものをしよう。

かったものは、おつかいきろくシートにきろくしよう。

ばんごう	かったもの	つかった おかね	のこりの おかね
スタート	おうちの人からもらう		1000
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

のこったおかね

円

じょうずに
かえたかな？



《おつかいメモ》

- おべんとうのおかず
- やさい、かならずひとつ
- おかし300円いない



クイズカード

クイズ 1

お洒をのむことができるのは、なんさいになってから？

?

- ① 18さい
- ② 20さい
- ③ 22さい

◆ せいかいは、ひらいてかくにんしよう ◆

解説 (かいせつ)

※おうちの人といっしょに声に出して読んでみよう

20歳未満の未成年者がお洒を飲むことは法律で禁止されており、保護者は未成年者がお洒を飲むことを止めなければなりません。

せいかいは、
② 20さい



マナビィ

マナビィといっしょにおつかいすごろく せつめいしょ



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 よういするもの

- ① すごろくばん
- ② おつかいかんりシート
- ③ おつかいきろくシート
- ④ クイズカード
- ⑤ サイコロ
- ⑥ コマ
- ⑦ ひっきょうぐ

準備 >

①～⑥は、もんぶかがくしょう文部科学省ホームページからダウンロードできるよ。
必要な分を印刷しましょう。⑦は、自分で用意しましょう。

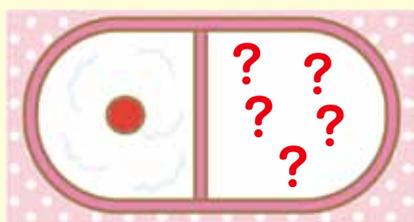
もんぶかがくしょう文部科学省ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/syuhisha/



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 ストーリー

あした
明日はまちにまった遠足だ。
おうちの人から、遠足で食べるお弁当のざいりょうと
おかしを買ってくるように、おつかいをたのまれたよ。
もらったお金をやりくりして、買い物をしておうちに
もどろう。



べんとう
どんなお弁当にしよう？



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 ～ おつかいのルール ～

あした えんそく た べんとう ざいりょう
明日の遠足で食べたいお弁当の材料と
おかし を買ってね。

- ルール 1 ・ 1000 円 をもらって、おつかい。
- ルール 2 ・ お弁当の材料には、**おかず** と **やさい** を必ず買う。
- ルール 3 ・ **おかし** は 300 円まで。

「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 であそぶまえに

◎ おつかいのルールをおぼえたら、「おつかい
かんりシート」に買いたいものに○をつけよう。

※ただし、スーパーでの買い物は、
○をつけたものでなくても買う
ことができるよ。



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

1

スーパーでは、止まったマス目にあるしな
ものを「かう」か「かわない」かをえらぼう。



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

2 スーパーの入口と出口は **みんなストップ!**
必ず止まって、**クイズ** にこたえよう。



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

3 買ったときは、「おつかいかんりシート」と
「おつかいきろくシート」に記入しよう。

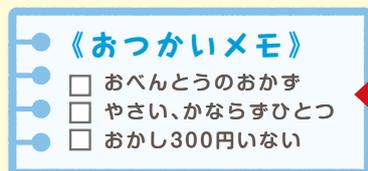


「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

4

チェックのマスをとおったら、おつかい
ができたかかくにんしよう。

たのまれたものを^か買えたら、^{でぐち}出口にすす
もう。まだ^か買う場合は、^{ばあい}もう1周^{しゅう}まわろう。



かかくにん

おつかい^{でぐち}ができたなら、^{でぐち}出口へ



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」で わかったこと

① ひつようなモノ? ほしいモノ?

かならず^か買わなくては^いけないモノ（おかず、やさい）と、たくさん^ほしくなっ
てしまうモノ（おかし）があったね。ひつようなモノは、ほしいモノより^{さき}先にえらぶと
いいことが^わかったかな？

② お^か買^{もの}い物は^{けい}か^くして、^そして^きろく^しよう

「おつかい^{かん}りシート」のように、^か買^{もの}い物する前に^{けい}か^くすると、^{じょうず}上手に^か買
い^{もの}ができるよ。買ったモノを^きろく^することも大切。ちゃんと「おつかいきろくシート」
に^か書^けたかな？

③ 自分で^えらべる^{よう}になろう

自分で^じぶん^いろいろ^{かん}が^か考^えて^か買^えたかな？お友^{とも}達^{だち}が^か買^ったモノ、^か買^った理由^{りゆう}を^き聞いても^{おも}しろ
い^かもね。きちん^{かん}と^か考^えて^か買^っうことが^{たい}せつ^だよ。



マナビィ

マナビィといっしょにおつかいすごろく ～ 保護者の方へ～



「おつかいすごろく」での「学び」を 生かすために…



① 必要なモノ？ 欲しいモノ？

お弁当の「おかず」「やさい」は必要なモノ、そしてお菓子は欲しいモノとして、限られたお金の中でのやりくりを学びました。必要なモノは、欲しいモノに優先して選ばなくてはいけません。日常生活の中でも、「必要なモノ？欲しいモノ？」といった問いかけをして、買う前によく考えさせることが大切です。

② 買いものは計画して、そして記録しよう

あらかじめ計画して“おつかい”に挑むと、予算どおりに買い物ができることがわかりました。子どもがお金を使う場面では、まず計画してから買うように提案しましょう。また、お金を何に使ったのか、しっかり記録する習慣もつけさせましょう。

③ 自分で選べるようになろう

「おつかいすごろく」では自分なりの考えで買い物をすることができました。

現代社会においては、限られた資源や環境の中で豊かな生活を維持していくために、個人個人が環境や社会への影響を考えて消費できる「消費者市民」であることが求められています。子どもが、自分のみならず、市民として責任を持った選択ができるよう、日々の生活の中でも、よく考えて「自分で選ぶ」機会を与えていくことも必要です。

「消費者教育」は、まず日常生活から



消費者としての「学び」は、日常生活の中に…

「おつかいすごろく」の前半部分のマスには、「消費者教育」のテーマを広く盛り込んでいます。実に多岐にわたりますが、どれも日常生活に密接に関係していることが分かります。



親がどう考えて、どのように行動しているのかを、日頃から言葉にしたり、子どもに問いかけたり、話し合ったりすることで、子どもは消費者としての力を日常生活の中で養うことができます。

子どもがだまされないためだけでなく、自主的・合理的に行動できるように支援してあげてください。

家庭での「消費者教育」のヒント



消費者教育の分野ごとに、ご家庭で子どもと考えるヒントの一部を掲載します。日頃の生活の中で、教えたり、話し合ったりしてみましょう。

<基本的な消費行動>

- 1 カ月のおこづかいの使い道を一緒に考える
- 買い物に出かけた際、購入にはお金が必要であることを教える
- お小遣い帳をつけさせる 等

<安全の確保>

- コンロなど身近な製品の正しい使い方を教える
- パソコンや携帯電話などを使用する際には、家庭でのルール作りをする 等

<商品情報の理解>

- 製品基準や環境に関するマークについて気付けさせる 等

<選択>

- 子どもが購入する際、本当に必要なものか、必要な量か、予算の範囲内かなどをよく考える習慣をつけさせる
- モノを購入する際には、品質や環境への影響などについて話しあう 等

<被害の救済>

- 生活上でトラブルが起きたときに、家族に相談する習慣を身につけさせる 等

<環境及び社会的影響の理解>

- 食事の際に、食の知識や国内外の食糧事情について話す
- 地域の環境保全活動と一緒に参加する
- 非常時の行動について、話し合う 等

